

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 **先端科学技術体験センターサイエンスショーメニュー開発費**

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局文化伝承課教育文化係 電話番号：058-272-1111(内3143)

E-mail：c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 23,932 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	23,932	0	0	0	0	0	0	0	23,932
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県先端科学技術体験センターは、21世紀を担う青少年の科学への興味を喚起し、知性豊かな創造性に満ちた人材の育成を図ることを目的として、平成11年に開館した施設である。

令和6年度に開館25周年を迎えるにあたり、看板メニューであるサイエンスショーの新規メニューを開発することにより、子どもたちの科学分野への興味・関心を深めるとともに、更なる利用促進を図る。

(2) 事業内容

岐阜県先端科学技術体験センターサイエンスショーのメニュー開発

(3) 県負担・補助率の考え方

青少年の科学への興味を喚起し、知性豊かな創造性に満ちた人材の育成を図るとともに、広く県民に生涯学習の場を提供するため、県として新たなサイエンスショーを開発することは妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	42	謝金
旅費	237	費用弁償、業務旅費
需用費	1	会議費お茶代
役務費	2	郵送代
委託料	23,650	サイエンスショー新規メニュー開発
合計	23,932	

決定額の考え方

新規メニュー開発がなくても一定の利用者がいることから計上を見送ります。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創成総合戦略

3 「清流の国ぎふ」を支える人づくり (1) 未来を支える人

④学校教育と社会教育の連携

(2) 国・他県の状況

科学の原理や面白さを実感できるエンターテインメント性を重視した科学実験ライブショーであり、他施設では見るできない。

(3) 後年度の財政負担

事業終期は令和6年度である。

(4) 事業主体及びその妥当性

岐阜県先端科学技術体験センターは青少年の科学への興味を喚起し、知性豊かな創造性に満ちた人材の育成を図るとともに、広く県民に生涯学習の場を提供することを目的とする施設であり、県として新たなサイエンスショーを開発する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県先端科学技術体験センターは、展示物を所蔵することなく、様々な科学体験・実験を通して、青少年の科学への興味を喚起し、知性豊かな創造性に満ちた人材の育成を図るとともに、広く県民に生涯学習の場を提供するための施設である。

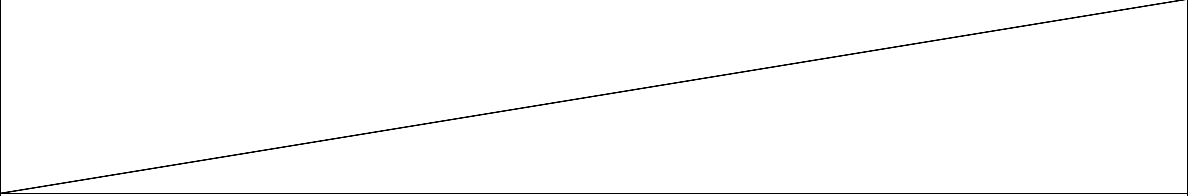
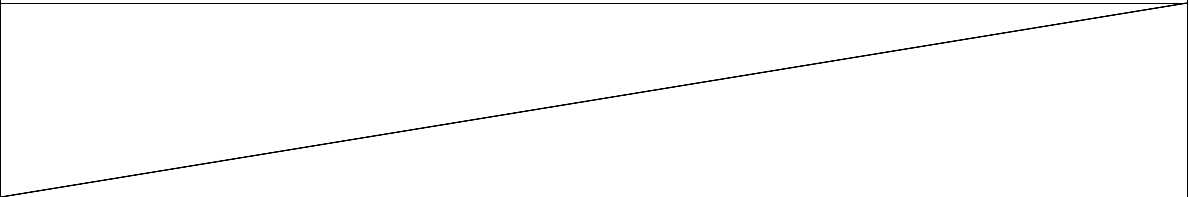
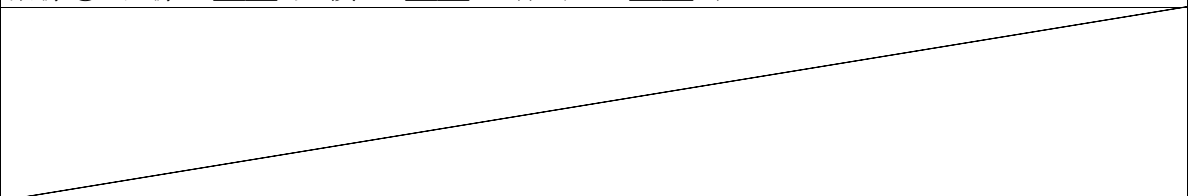
センターの看板メニューであるサイエンスショーは、平成30年度以降開発していないため、新規メニューを開発する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R3年度 実績	R4年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①サイエンスショー利用者数（人）	20,307	/	/	20,500	21,000	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 岐阜県先端科学技術体験センターは平成11年の開館から24年が経過しており、設備や備品についても更新時期を迎えているものや、老朽化しているものがあり、計画的に更新を図る必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 施設の正式名称である「岐阜県先端科学技術体験センター」の館名を維持するため、引き続き、最新の科学技術のテーマをプログラム化して来館者へ提供する必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】